

町民と理科大

# みんなでいっしょに考えたい 11月16日(日)アキ

12 時半開場、13 時開始

学習文化センタ

## 方を形式芸

第1部:ホタテを科学する

(発表者:発表順)

\*ホタテについて初心者向け 解説つきです!

和田 直之(東京理科大学理工学研究科応用生物科学専攻) 尾定 誠(東北大学大学院農学研究科水圏動物生理学分野) 友岡 康弘 (東京理科大学基礎工学研究科生物工学専攻)

鳥越 秀峰(東京理科大学総合化学研究科総合化学専攻)

村上学(東京理科大学基礎工学部長万部教養)

第2部:パネルディスカッション

\*会場から質問を受ける予定です

長万部町 · 東京理科大学 (総合研究機構長万部地域社会研究部門) 共催 問い合せ先 : 東京理科大学事務部 01377(2)5111

### **11**月**16**日(日)にシンポジウム\*を開催!

\* 講演者が話した後、参加者であれこれ意見を出し合う集まり

### ホタテを科学する

長万部町の「まちづくり」を 町民と理科大

みんなでいっしょに考えたい

1987年。国鉄民営化が実施され現在のJRが発足したちょうどその年。 東京理科大学はここ長万部にキャンパスを設置しました。それから本年 2014年度で28年目。町にお世話になって巣立った卒寮生は7000人を超え、 現在の町の人口を上回る人数になりました。その一方で、四半世紀が過ぎ、 町の様子も当時とはずいぶん変わってきています。

現在の長万部町は、新幹線の開通に伴う経済効果を期待しつつ、さらなる発展を企図しています。大学も総合研究機構「長万部地域社会研究部門」を立ち上げ、これまでお世話になってきた長万部町に対して、恩返しも兼ねて全学を挙げてさらにできることを模索しはじめました。

これからの「まちづくり」を、町と大学とがいっしょになって考えたい。

今回は「ホタテを科学する」というタイトルで、町の重要な水産資源である「ホタテ貝」にかかわる新しい研究成果を中心に報告します。

「少し難しそう」と思う方も大丈夫。発表は分かりやすい解説つき。そして疑問はパネルディスカッションで質問できます。

パネルディスカッションではホタテ以外でも、まちづくりについて町民と 発表者との間で話ができるようにします。

事前登録は不要。もちろん無料。

長万部の町づくりに関心がある方。理科大が何をするのか興味のある方。 是非とも奮ってご参加ください。

長万部町学習文化センターにて(12 時半開場、13 時開始)
\*\* 参加費無料、事前登録不要

主催: 長万部町、東京理科大学(総合研究機構「長万部地域社会研究部門」)

問合せ先: 東京理科大学長万部事務部 01377(2)5111

#### プログラム

### 第3回 長万部シンポジウム "ホタテを科学する"

平成26年11月16日(日) 長万部町学習文化センター ホール

> タイトルは難しそ うですが、初心者

向けのわかりやす い解説です!

12:30 受付開始、開場

13:00 第一部: ホタテを科学する

1. ホタテ稚貝の器官成長と遺伝子発現解析 和田 直之(東京理科大学理工学研究科応用生物科学専攻)

2. 貝類の生殖を操っているホルモンの仕組み 尾定 誠(東北大学大学院農学研究科水圏動物生理学分野)

(休憩)

14:00

町の特産品のこれからの可能性について、の可能性について、まずは報告を聞いてくますは報告を聞いてく

3. 生きたホタテ細胞を試験管内で科学する方法

友岡 康弘(東京理科大学基礎工学研究科生物工学専攻)

- 4. ホタテ中腸線のカドミウムに対抗する手段に関する考察 鳥越 秀峰(東京理科大学総合化学研究科総合化学専攻)
- 5. 「長万部町出身なので理科は得意なんだ」と言わせてみたい 村上 学(東京理科大学基礎工学部長万部教養)

15:00 (休憩)

15:10 第二部:パネルディスカッション \*会場から質

\*会場から質問を受ける予定です

<パネリスト> 講演者

<司会>藤井 志郎(東京理科大学基礎工学部長万部教養)

ホタテのことだけでなく、「まちづくり」にかかわっ て、産業、教育、環境など、 みんなで考えましょう

16:00 閉会の辞